



地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向

2024
令和6年
8-23
No.624

「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけします。

月例調査レポート



長野市 「第54回長野びんずる」

「躍らされるな、自らが踊れ」を今年のスローガンとして8月3日に開催された長野びんずる。過去には約200連・1万人以上の参加がありましたが、コロナ禍での2年連続の中止や縮小開催を経て、今回は112連、約5,500人の参加(主催者発表)となりました。どうやら、従業員の働き方の見直しや価値観の変化が背景にあるようですが、市民が郷土愛で一体となる真夏の祭典であることに変わりはありません。

- 長野しんきん 月例調査レポート 2
- 企業アンケート「手形・小切手の廃止」② 6
- インタビュー 変革期の経営ビジョン 8
- 北信濃 明治時代の風景 (29) 湯田中・渋温泉 10

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



長野信用金庫

概況 全産業

生産は2カ月連続の上昇 前年同月比は7カ月ぶりの上昇

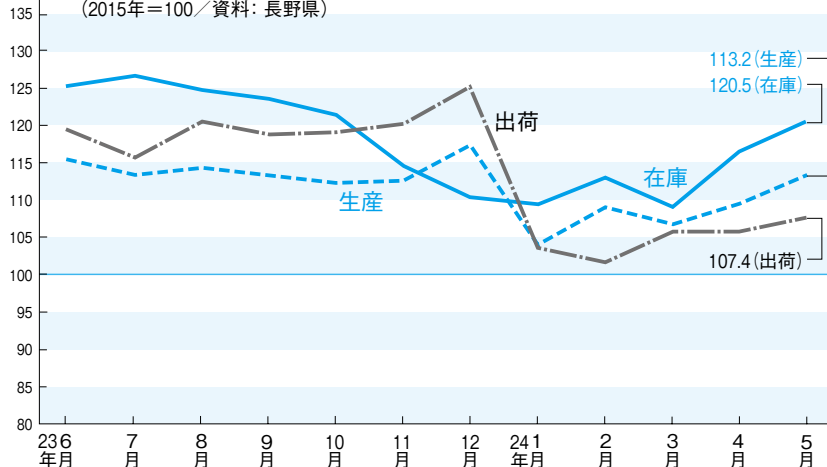
◇2024年5月の長野県鉱工業指数 (速報：季節調整済指数)

生産は113.2(前月比+3.4%)で2カ月連続の上昇、出荷は107.4(同+1.5%)で3カ月連続の上昇、在庫は120.5(同+3.3%)で2カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は108.7(前年同月比+2.8%)で7カ月ぶりの上昇、出荷は102.4(同+0.7%)で2カ月連続の上昇、在庫は119.2(同▲1.2%)で6カ月連続の低下となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移
(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…化学、食料品、電子部品・デバイスなど12業種

低下…はん用・生産用・業務用機械、電気機械、窯業・土石製品など5業種

[出荷] 上昇…電子部品・デバイス、情報通信機械、食料品など14業種

低下…電気機械、その他工業、鉱業など3業種

[在庫] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、化学、電子部品・デバイスなど9業種

低下…情報通信機械、窯業・土石製品、鉄鋼業など7業種

月例調査

全産業の「売上高」は横ばい

前回調査 2024年5月

◇7月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年同月比は、増加した企業が26%、不変が43%、減少

が31%となりました。5月調査時に比べると増加が2割減、不変が3割増、減少が1割減となり全体として横ばいの状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↗ 増加 → 不変 ↘ 減少
🔄 改善 ⇄ 不変 📉 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			変化	今回			変化	割合
	増加	不変	減少		増加	不変	減少		
前 回	28.4	40.1	31.5	→					197社(回収率89.5%) 30人未満 72.1% 30人以上 27.9%
今 回	増加 → 26.4	不変 → 43.0	減少 → 30.6	→					194社(回収率88.2%) 30人未満 74.2% 30人以上 25.8%
製造業	25.0 ↘	42.6 →	32.4 ↗	↘					68社(回収率87.2%) 30人未満 69.1% 30人以上 30.9%
建設業	23.8 ↘	46.0 ↗	30.2 ↘	↗					64社(回収率92.8%) 30人未満 84.4% 30人以上 15.6%
卸小売業	26.2 ↗	38.1 ↘	35.7 ↗	↘					42社(回収率89.4%) 30人未満 78.6% 30人以上 21.4%
サービス業	40.0 ↘	60.0 ↗	0.0 →	↘					5社(回収率71.4%) 30人未満 80.0% 30人以上 20.0%
輸送業	14.3 ↘	42.8 →	42.9 ↗	↘					7社(回収率77.8%) 30人未満 28.6% 30人以上 71.4%
外食業	62.5 ↗	37.5 ↘	0.0 →	↗					8社(回収率80.0%) 30人未満 50.0% 30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」食料品・一般機械が増加するも、全体は減少

製造業の生産高前年同月比は、増加した企業が25%、不変が43%、減少が32%となりました。5月調査時に比べると増加が7割減、不変が3割増、減少が5割増となり全体として減少の状況です。

●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

製造業	前回	32.4	39.7	27.9
	今回	増加 25.0	不変 42.6	減少 32.4
食料品		46.7	33.3	20.0
金属加工		15.4	46.1	38.5
一般機械		11.1	44.5	44.4
電気機械		33.3	50.0	16.7
自動車部品		25.0	50.0	25.0
精密機械		28.6	28.5	42.9

【業種別】 増加…食料品・一般機械

横ばい…精密機械

減少…金属加工・電気機械・自動車部品

【機械稼働】 上昇企業の割合 (15%) → 20%

低下企業の割合 (12%) → 9%

機械稼働率 (77%) → 83%

機械稼働状況(前回比) 上昇

【受注状況】 増加企業の割合 (14%) → 23%

減少企業の割合 (14%) → 11%

受注残高(2.1ヵ月) → 2.0ヵ月

受注量(前回比) 横ばい

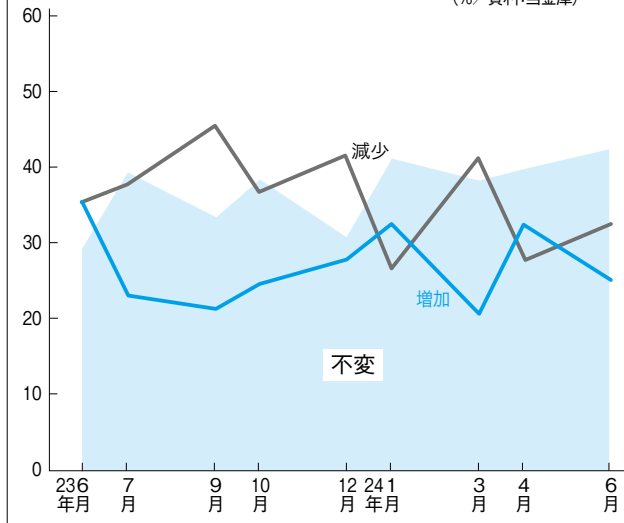
【受注基調】 上昇企業の割合 (17%) → 20%

下降企業の割合 (17%) → 17%

(前回比) 上昇

●生産高前年同月比「増加・不変・減少」割合の推移

(%／資料:当金庫)



企業からのコメント

★中国の景気減速が継続しており、市場環境は厳しくなっている。(電子部品)

★米不足により、仕入の契約価格が大幅に値上がりした。(味噌)

★鋼材等の原材料が6月から5～20%値上がりした。また、産業機械向け電子部品の回復の兆しが見えず、依然として低迷状態。(金属製品ほか)

☆夏の猛暑の予報により出荷が増加しており、商品の供給が切迫してきている。(そば)

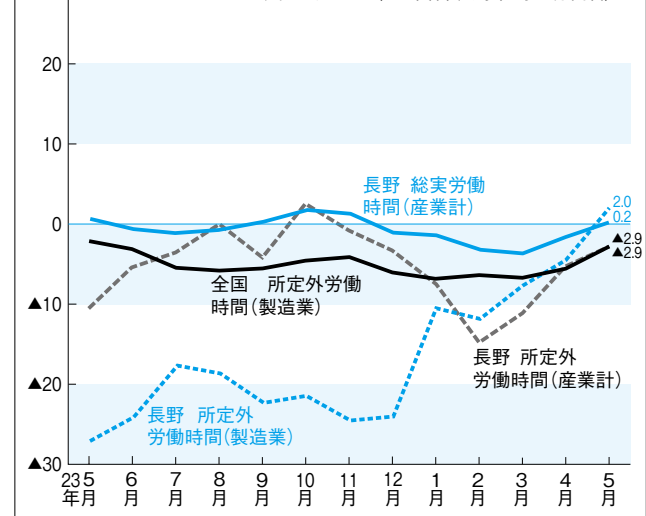
★人件費・電気・運送費等の諸経費の高騰もあり、収益環境は厳しい。(輸送用機器)

☆★コロナの収束で受注は安定してきている。反面、円安でコスト増となり、収益の悪化を招いている。

(医療器具)

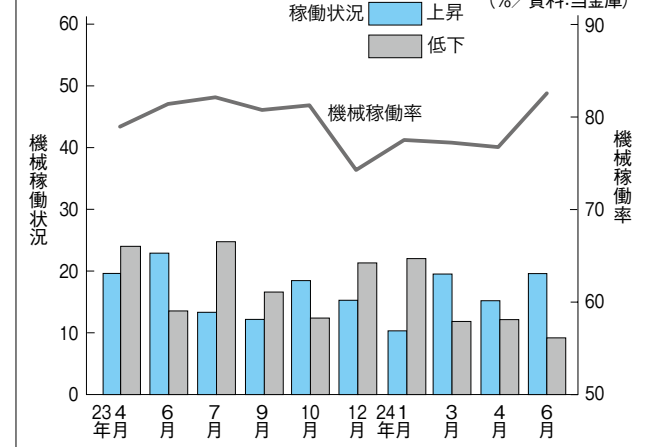
●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(%／資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移

(%／資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設・建築が増加し、全体も増加

概 況

建設業の施工高前年同月比は、増加した企業が24%、不変が46%、減少が30%となりました。5月調査時に比べると増加が4割減、不変が14割増、減少が10割減となり全体として増加の状況です。

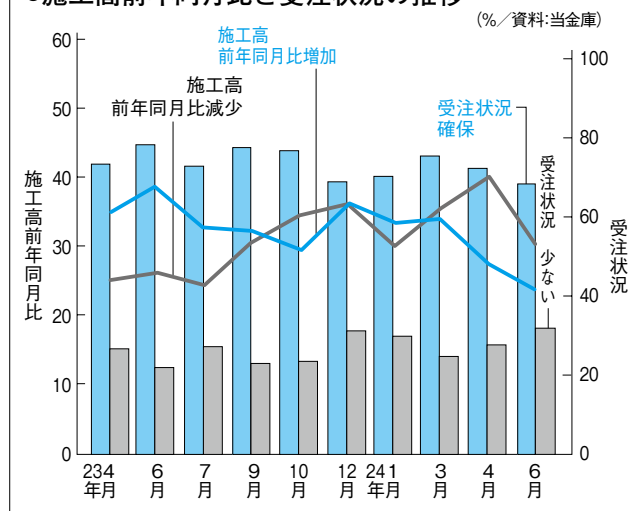
●施工高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

建設業	前回	27.7	32.3	40.0
	今回	増加 23.8	不変 46.0	減少 30.2
総合建設業		30.0	70.0	0.0
土木工事業		7.1	50.0	42.9
建築業		36.4	40.9	22.7
各種設備業		33.3	33.4	33.3

【業種別】 増加…総合建設・建築
減少…土木工事・各種設備

【受注状況】 「多い・適正」企業の割合 (72%) → **68%**
「少ない」企業の割合 (28%) → **32%**
受注高月商倍率 (3.5カ月) → **4.2カ月**

●施工高前年同月比と受注状況の推移



企業からのコメント

☆リフォームにおいて非常に引き合いがあり、また、受注も好調である。(建築業)
 ☆★長野県内・首都圏は、10月以降の受注残および工事量が減少予測。北陸圏は堅調に推移。(内装工事)
 ★依然、変わらぬ材料高に加え、住宅ローン金利の引上げや燃料(光熱)費の高騰も相まって、顧客の購買意欲の低迷が続く、受注難が続いている。(総合建設)

4～6月の公共工事 (東日本建設業保証取扱分)

長野県の4～6月の発注合計は、1,155.6億円(前年同期比+22.0%)となりました。前年比プラスは「県」の3,120.5億円(同+0.3%)、「市町村」の2,247.8億円(同+12.7%)、「そのほか」の5,094.8億円(+60.7%)、マイナスは「国」の1,086.0億円(同▲9.1%)でした。

北信地区市町村の発注合計は659.4億円(同+31.5%)で、うち長野市は381.9億円(同+31.3%)でした。

●建設業保証取扱分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2024年6月/2024年4月～6月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2024年6月	前年同月比	2024年4月～6月	前年同期比
長野県	国	4,703	▲42.0%	10,860	▲9.1%
	県	4,158	+69.7%	31,205	+0.3%
	市町村	8,343	+26.4%	22,478	+12.7%
	そのほか	7,583	+7.0%	50,948	+60.7%
	合計	24,853	+2.5%	115,558	+22.0%
北信地区	市町村	2,457	+24.3%	6,595	▲22.1%
	(内長野市)	935	▲1.4%	3,819	+13.3%

4～6月の新設住宅着工戸数

長野県の4～6月の新設住宅着工戸数は2,684戸(前年同期比▲7.7%)でした。持家が1,584戸(同▲4.2%)、貸家が731戸(同▲1.1%)、分譲が351戸(同▲31.0%)、給与が18戸(同+200.0%)です。

北信地区の4～6月の新設住宅着工戸数は668戸(同▲24.4%)でした。持家が387戸(同▲16.6%)、貸家が196戸(同▲23.1%)、分譲が83戸(同▲49.1%)、給与が2戸(同±0.0%)です。

●長野県と北信地区の新設住宅着工戸数(2024年6月/2024年4月～6月累計)

(資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
長野県	6月	552戸	321戸	107戸	15戸	995戸
	前年同月比	▲5.3%	▲8.3%	▲15.1%	650.0%	▲6.2%
	4～6月	1,584戸	731戸	351戸	18戸	2,684戸
	前年同期比	▲4.2%	▲1.1%	▲31.0%	+200.0%	▲7.7%
北信地区	6月	126戸	69戸	23戸	2戸	220戸
	(内長野市)	57戸	41戸	11戸	0戸	109戸
	前年同月比	▲30.4%	▲25.0%	▲54.0%	——	▲31.9%
	(内長野市)	▲45.2%	▲46.1%	▲67.6%	——	▲49.1%
	4～6月	387戸	196戸	83戸	2戸	668戸
	前年同期比	▲16.6%	▲23.1%	▲49.1%	±0.0%	▲24.4%

卸小売業

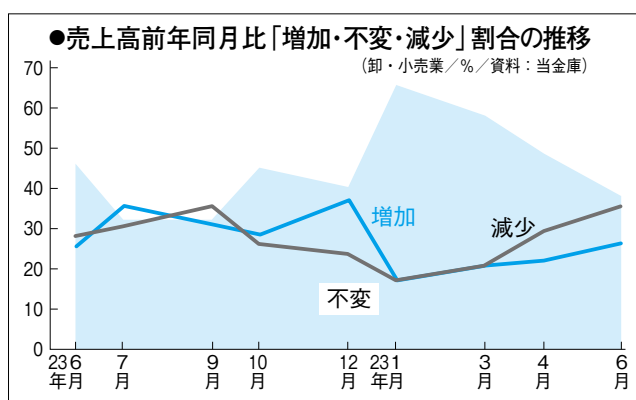
卸売業、小売業

「売上高」卸売が増加、小売は減少

卸小売業の売上高前年同月比は、増加した企業が26%、不変が38%、減少が36%となりました。5月調査時に比べ増加が4ポイント増、不変が11ポイント減、減少が6ポイント増となり全体としては減少の状況です。

●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

卸小売業	前回	22.0	48.7	29.3
	今回	増加 26.2	不変 38.1	減少 35.7
卸 売 業		33.3	44.5	22.2
小 売 業		20.8	33.4	45.8



【業種別】増加…卸売業、減少…小売業

6月の消費者物価指数(長野市) 2020年基準=100

◇総合指数(確報値)……110.0(前月比同水準)

(前年同月比+3.6%)(34カ月連続プラス)

上昇…「光熱・水道」「家具・家事用品」「保健医療」

「交通・通信」「住居」

下落…「教養娯楽」「食料」

◇生鮮食品を除く総合指数…109.6(前月比+0.1)

(前年同月比+3.3%)(35カ月連続プラス)

企業からのコメント

☆★夏祭りの復活により、若干売上にプラスとなっている。しかし、景気は全般的に良くない。(寝具ほか)

★必要な商品以外の買い控えがみられる。

(衣料品小売)

☆自動車業界の不正問題から落ち着きを取り戻しつつある。中古車業界は堅調、新車も需要増になりつつあり、受注は増加している。(自動車部品卸)

☆宴会需要の高まりや外食の回復、訪日観光客の増加等により受注は回復傾向にある。(食品卸)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送は減少、外食が増加

サービス業 売上高前年同月比は、増加した企業が20ポイント減の40%、不変が20ポイント増の60%、減少が横ばいの0%で、全体として減少の状況です。

輸送業 売上高前年同月比は、増加した企業が8ポイント減の14%、不変が2ポイント減の43%、減少が10ポイント増の43%で、全体として減少の状況です。タクシーは横ばい、運輸は減少です。

外食業 売上高前年同月比は、増加した企業が40ポイント増の63%、不変が18ポイント減の38%、減少が22ポイント減の0%で、全体として増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は前月比10%減少、前年同月比でも15%減少しています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は26ポイント増加の89%、「引合いやや増加」は横ばいの0%でした。

企業からのコメント

★建築費の値上がりで、土地購入など買手は慎重になっている。住宅ローンが組めても控える人が出てきている。(不動産)

☆★昨年は県民割が実施されていたため、客数が増加した。本年については、昨年に比べ減少はしているが悪い感じではない。7月以降は、むしろ昨年より予約状況は活発である。(旅館)

●売上高前年同月比「増加・不変・減少」割合(%)

サービス業	前回	60.0	40.0	0.0
	今回	増加 40.0	不変 60.0	減少 0.0
輸送業	前回	22.2	44.5	33.3
	今回	14.3	42.8	42.9
うちタクシー業		50.0	0.0	50.0
うち運輸業		0.0	60.0	40.0
外食業	前回	22.2	55.6	22.2
	今回	62.5	37.5	0.0

紙の手形・小切手廃止による最大のメリット

「印紙税や郵送料などのコスト削減」が半数

電子決済サービスの移行に向けて導入しているもの

「インターネットバンキング」が7割弱

アンケート
手形・小切手の廃止 ②
2024年6月調査

紙の手形・小切手廃止 の「最大のメリット」

前号で、「電子決済サービスへの移行を推進していることを〈知っている81%の企業〉に紙の手形・小切手廃止の『最大のメリット』」を聞きました。

「印紙税や郵送料などのコスト削減」(50%)がトップで、「事務負担の軽減」は(26%)、「盗難・紛失のリスクがない」は(21%)となりました。

従業員規模で見ると、30人以上は30人未満より「印紙税や郵送料などのコスト削減」が1割高く50%、「事務負担の軽減」が1割低く25%、「盗難・紛失のリスクがない」が1割高く22%となっています。

業種別

製造業 「盗難・紛失のリスクがない」(26%)は4業種の中で最も高くなっています。

建設業 「事務負担の軽減」(19%)は4業種の中で最も低くなっています。

卸小売業 「印紙税や郵送料などのコスト削減」(57%)は4業種の中で最も高くなっています。

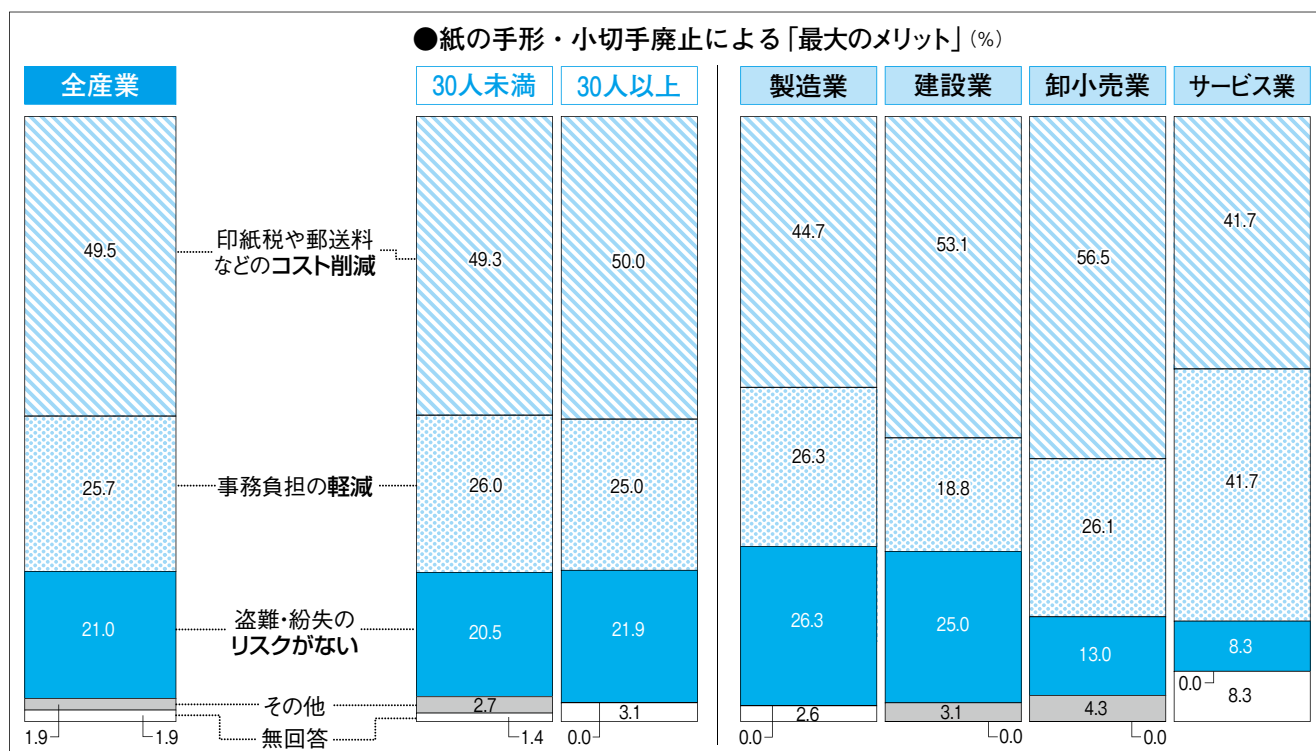
サービス業 「事務負担の軽減」(42%)は4業種の中で最も高くなっています。

電子決済サービスの移行に向けて 既に「導入しているもの」

前号で、「電子決済サービスへの移行を推進していることを〈知っている81%の企業〉に『既に導入しているもの』」は何かを聞きました。

「インターネットバンキング」(69%)がトップで、以下「電子記録債権(でんさい)」が(51%)、「導入に向けて準備をしている」(7%)、「特に準備をしていない」が(17%)となりました。

従業員規模で見ると、30人以上は30人未満より「インターネットバンキング」が5割高い72%、「電子記録債権(でんさい)」が13割高い59%、「導入に



向けて準備をしている」が1割低い6%となっています。

業種別

製造業 「電子記録債権(でんさい)」(61%)は4業種の中で最も高くなっています。

建設業 「インターネットバンキング」(84%)は

4業種の中で最も高くなっています。

卸小売業 「インターネットバンキング」(57%)は4業種の中で最も低くなっています。

サービス業 「電子記録債権(でんさい)」(33%)は4業種の中で最も低くなっています。

◇次号は「電子決済サービスの移行の準備をしていない理由」と「電子決済サービスに関するセミナー等の参加」に関するアンケートを予定

電子的決済サービスの導入までの流れ(支払利用の場合)

STEP 1

検討・体験デモ

コストメリットの試算や、会計システム、支払手続変更の要否などを確認します。金融機関が提供している体験デモもご活用ください。



STEP 2

取引金融機関へご相談

取引金融機関にご相談ください。専門スタッフを派遣するなどのサービスを提供する金融機関もあります。ITに不慣れな方は、導入をサポートしてもらうこともできます。



STEP 3

導入

取引金融機関への申込、社内の事務手続や管理手順の見直しなどを行い、導入の準備は完了です。

- ☐ 利用申込
- ☐ 管理手順
- ☐ 事務運用方法
- ☐ 初期設定



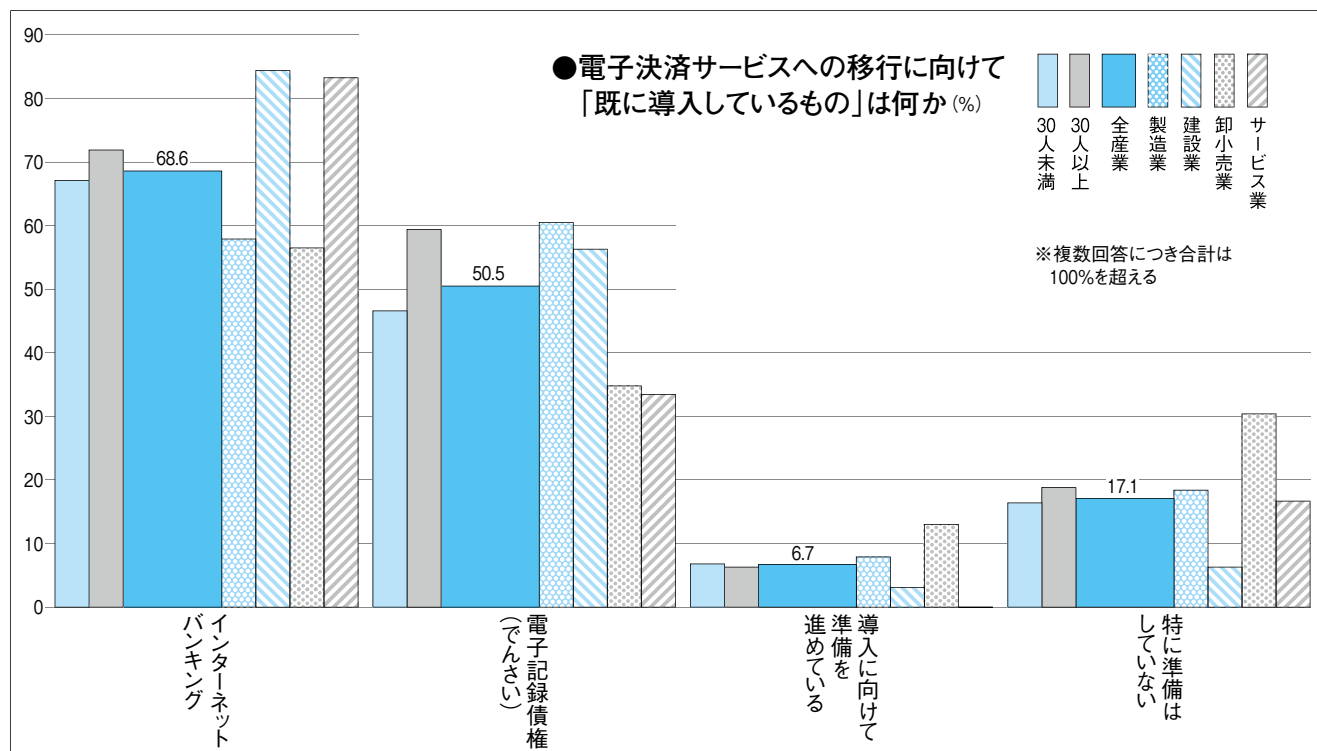
STEP 4

取引先企業へのご案内

取引先企業に電子記録債権やインターネットバンキングによる振込への切替を案内し、振込先の口座情報等、必要な情報を確認すれば、利用開始です。



「一般財団法人 全国銀行協会」リーフレットより抜粋





地域に必要とされる企業を目指します！

株式会社モリビ
代表取締役社長 森山アリエルさん

●創業の経緯をお聞きます…

1999 (平成11) 年に私の義父・森山栄次が、アパートのハウスクリーニングを始めるため、(有)森美装を設立しました。賃貸物件仲介会社とのつながりができつつある中で、「リフォームなどできないか？」と勧められ、ハウスクリーニングを基本としながらも、徐々にリフォームやビルメンテナンスなどの業務も行うようになりました。設立5年後に上田営業所を、同8年後に佐久営業所を設立し、エリアを東信地域にも拡大していきました。

2008 (平成20) 年に社名を(株)モリビに変更したのですが、この直後に営業エリアを中信、南信にも拡大し、長野県内全域をカバーするようになりました。

●社長になられた経緯をお聞きます…

私はアルゼンチンで生まれて、5歳のときに日本に来て埼玉県で育ちました。学校を卒業後、物作りが好きでしたので、半導体を製造する会社に入社してNC旋盤を担当していました。

長野市にきたのは2005 (平成17) 年、23歳のときです。当時お付き合いをしていた現在の妻が長野市に戻ることにになり、私も一緒に長野市に移り住みました。そして妻の父親が経営する(有)森美装に入社したのです。入社した当時は社員が5名程度でした。最初は長野の環境や地域性に慣れるのに苦労しましたが、当社のすべての仕事を一から勉強しました。4年後の27歳のときに結婚したのですが、その頃に上田営業所と佐久営業所を統合して東信営業所を設立したり、前述のとおり中信営業所、南信営業所を相次い

で設立したりと業容を拡大している時期で、従業員も増えていきました。私自身も一生懸命に働き、やがて常務となりました。

2011 (平成23) 年に当社ホームページを開設、翌年には「アキメン」(空き家のメンテナンス) 業務を開始しました。これは空き家の水まわり点検、付帯設備の動作確認、防犯対策や郵便物の処理などを家主様に代わって行う業務です。

2020 (令和2) 年に義父(現会長) から「そろそろ会社の継承を考えているのだが、どうだろう？」と打診されました。義父はまだ65歳、現役バリバリでしたので迷ったのですが、元気なうちのほうがさまざまなことを吸収できますし相談もできるので、今のうちに継承した方が良いでしょう、ということで決断しました。

社長になって業務の全体を見直しました。その核となるのが、DX (デジタルトランスフォーメーション) とIT (インフォメーションテクノロジー) を積極的に採り入れることです。今もそうですが、アナログ的だった業務をDXとITで効率化しています。また、SDGs (持続可能な開発目標) に賛同し、積極的に参画しています。

●業務の概要をお聞きます…

基本的にアパートの「リフォーム」がメインになります。そのほかには賃貸物件の退去立会やアフターメンテナンスなど、県下全域をカバーする賃貸物件仲介会社とタイアップしてアパートに関わる全ての業務を行っています。

当社は、地域に根ざした企業を目指していて、一環して取り組んできたテーマは「再生」です。長野県の6割の物件は築40年以上になります。その多くはまだ使える建物ですので、リフォームして少しでも建物の寿命を延ばしたいと思っています。

当社がDXを進めて行く中で、サイボウズ社が作っている「kintone (キントーン)」というシステムを導入したのですが、このシステムを活用した好事例を発表する全国大会があり、昨年、最も

インパクトのある業務改善を実現した企業として、グランプリを受賞することができました。このシステムを活用してアプリを立ち上げ、社内のペーパーレス化にチャレンジしたところ、大幅な削減に成功しました。それだけでなく、紙媒体を減らしたためリモートワークなど働き方の選択肢を増やすことにも成功しました。

実はこのシステムの活用は、社員の植田氏がや



当社外観



玄関



会議室

ってみたいということで任せました。当初、彼は営業職でしたが、この業務を専属でやってもらいました。現在は、より良いシステム作りのため、経営企画部長として活躍してもらっています。

●今後の方針や夢をお聞きます…

賃貸物件に関して県下全域のお客さまから信頼していただき、「建物に不具合が出たら、ぜひモリビさんをお願いしたい」。そう言っていただける企業を目指しています。そのためには社員全員の知識のレベルアップが必要です。したがって、社員を外部研修に派遣したり、国家資格ではありませんが、最近創設された「賃貸住宅メンテナンス主任者」資格を全社員が取得できるよう勉強してもらっています。これらとDX化、IT化を組み合わせ、真に「地域に必要とされる会社」になれるよう精進していく所存です。



業務風景

●事業の概要

創 業 1999(平成11)年
資本金 1,000万円
代表者 森山 アリエル
従業員 56名(男36名・女20名)
業 種 リフォーム工事、ハウスクリーニング、
退去時立会、賃貸不動産・空き家管理
事業所 長野市稲葉1383-1
U R L <https://moribi.co.jp/>

●沿革

1999(平成11年) 森山栄次が(有)森美装を設立
2008(平成20年) (株)モリビに社名変更
2020(令和2年) 森山アリエルが代表取締役社長に就任

北信濃 明治時代の風景

(29) 湯田中・渋温泉

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



この図は、明治18年(1885)に作られた下高井郡平穏村の図の主要部分です。左上が北で、右下が南です。現在の下高井郡山ノ内町の、湯田中温泉と渋温泉のある地域です。山間部と平野部があり、平野部は字によって分割され、「字○○」と字名が記されています。

夜間瀬川・横湯川・角間川

図の下部右側から2本の川が流れ、合流して1本の川となります。横湯川(上)と角間川(下)が合流して、夜間瀬川となっているのです。横湯川の「横湯」は、図の横湯川沿いに「字横湯」があるので、横湯川右岸の字名であることが分かります。角間川の「角間」は角間温泉で知られていますが、やはり角間川左岸の「佐野村」(山ノ内町佐野)の字名です。夜間瀬川は、右岸の夜間瀬村(山ノ内町

夜間瀬)に由来しています。

横湯川と角間川とでは横湯川の方が長いので、夜間瀬川の長さ(24,086m)は横湯川も含めて計測されています。

横湯川の水源は志賀高原の大沼池です。しばしば大洪水を起こして人々を苦しめてきました。大正時代末から昭和10年代にかけて造られた横湯川の堰堤は、国の登録有形文化財となっています。また横湯川の洪水は、大沼池の竜神と中野城主の娘との恋物語(黒姫伝説)として語り継がれています。角間川の上流には、潤満滝(落差107m)があります。

湯田中村から山ノ内町へ

湯田中村は、単に田中村とも呼ばれていました。幕府が作成した郷帳ごうちょうによれば、元禄15年(1702)の



「下高井郡平穏村吉町六分図」(長野県立歴史館蔵)

郷帳では「田中村」でしたが、天保5年(1834)の郷帳では「湯田中村」となっています。沓野村は現在の渋温泉から志賀高原にかけての一帯で、湯田中村の枝村でしたが、安政2年(1855)に湯田中村から分離独立しました。

湯田中村、沓野村、上条村(長野電鉄上条駅周辺)の3村は、明治9年(1876)に合併して平穏村となりました。平穏村は昭和29年(1954)に平穏町となりましたが、翌昭和30年に穂波村、夜間瀬村と合併して山ノ内町となりました。旧平穏村の名は、山ノ内町大字平穏となって残っています。大字平穏の範囲は、湯田中温泉・渋温泉から志賀高原全域に及んでいます。

草津街道

志賀高原を通り抜けて草津温泉に至る道が、草津街道です。江戸への最短路として、奥信濃の人々に利用されてきました。しかし7里(28km)もの山道を経由するので、渋温泉と草津温泉の双方に宿泊する必要がありました。渋温泉はそうした旅人の利用もあって、繁栄しました。文化5年(1808)、小林一茶はこの道を通って江戸から帰郷しています。途中で道に迷ったようで、難路であったことが分かります。途中の沓打や硯川には茶屋があり、沓打茶屋は戦後まで営業していました。

渋温泉の歴史

図の「字渋湯」「字横湯」一帯にあるのが渋温泉で、奈良時代の神亀年間(724~729)に諸国行脚中の行基によって発見されたと伝えられています。鎌倉時代の嘉元3年(1305)には禅僧虎関師錬が横湯に温泉寺を開き、温泉を経営したといわれています。江戸時代は松代藩領だったので、松代の殿様も入浴に訪れています。

湯田中温泉と弥勒石仏

図の左端の「字町東」「字町西」一帯にあるのが湯田中温泉です。その歴史は渋温泉より古く、天智天皇の時代(668~671)に僧智由が発見し、石の弥勒像を造って温泉の東端に安置したと伝えられています。



「楓の館」として保存公開されている湯田中駅旧駅舎

この石仏は埋もれていましたが、平安時代末の大治5年(1130)に僧来光が掘り出して安置し直したといわれています。図の中央左の「字弥勒」に描かれている石塔のようなものがその石仏で、現在は山ノ内町の史跡に指定されています。

小林一茶と湯田中温泉

湯田中で温泉宿を営む湯本希杖は、俳人小林一茶の門人でした。一茶は文化10年(1813)10月に初めて希杖宅を訪れ、13泊したのをきっかけに、晩年までしばしば希杖の元で温泉を楽しみました。文政5年(1822)に書かれた俳文「田中河原の記」は、湯田中温泉の風俗を記した名文です。「子どもらが雪喰ひながら湯治哉」などの句が詠まれています。

昭和31年(1956)の一茶没後130年をきっかけに、湯田中温泉には「一茶堂」、「一茶の散歩道」などが整備され、観光に活用されています。

湯田中駅の開業

長野電鉄が延伸し、この図の左端に湯田中駅が開業したのは、昭和2年(1927)のことです。その初代駅舎は昭和30年(1955)に現在の駅舎が完成した後も保存され、現在は国の登録有形文化財となっています。

9月号は「千曲市屋代」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫](#) [すかい](#)

◆「安否確認方法や集合場所」などを取り決めているか

「決めている」32% 「決めていない」66%

「携帯・固定電話などの通信が使えない場合、家族や身近な人との安否確認方法や集合場所などを取り決めているか」を聞きました。

全体を見ると、「きちんと決めている」3%と「だいたい決めている」29%を合わせた「決めている」は32%、「決めていない」は66%でした。

男女別で「決めている」割合を比較すると、男性は28%、女性は38%となり、女性の方が高くなりました。

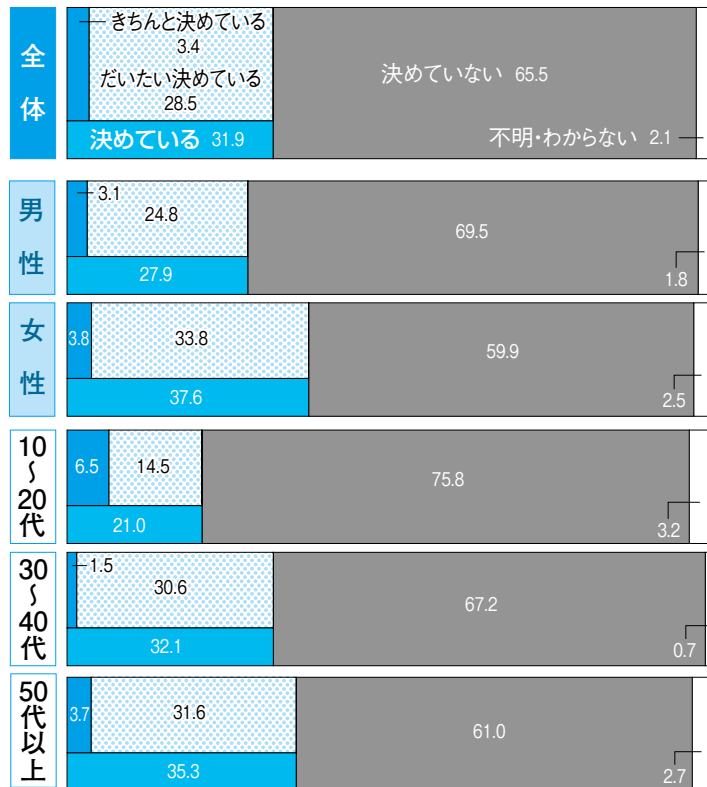
同様に世代別で比較すると、10～20代が21%、30～40代が32%、50代以上が35%となり、年代が上がるほど高くなりました。

政府や消防庁では、日頃から安否確認方法や集合場所などを家族で話し合っ

ておくことを強く推奨しています。

〈当金庫・2024年6月調査〉

●安否確認方法や集合場所などを取り決めているか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [9月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
9月 3日 火	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	9月 18日 水	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)
4日 水	大豆島支店 (長池支店)		19日 木	若穂支店	小布施支店 (中野支店)
6日 金	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	24日 火	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
11日 水	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	25日 水	本店営業部	
12日 木	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	27日 金	本 部	
13日 金	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)	30日 月	本 部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <https://www.nagano-shinkin.jp/>

